

学校目標 “三つの心”

希望に生きる心

ねばり強い心

素朴で清い心

めざす生徒の姿

・希望をもって追究し、創造する生徒
・素朴で清々しく、たくましい生徒

・ねばり強く実践する生徒

学力向上への取組

令和4年度全校研究テーマ

「子どもと教師が自ら学ぶ授業を求めて」

【目指す生徒の姿】

自ら課題をもち、考えを表現し合い、追究し続ける生徒

<重点的な取り組み>

・授業での導入場面や題材の工夫(タブレットの利用等)と、『対話活動』の時間の確保。

・教師同士が授業を見合い、語り合いお互いの方・考え方を更新する場の確保。

・生徒への授業アンケートを実施し、現状を把握し課題を見つけ取り組む。

<教職員の研修>

・自ら学ぶ授業づくりのための研修会を年4回設け、生徒アンケートや実際の生徒の姿の分析し、改善点を明確にして授業改善に取り組む。

4年度キーワード 菅中フライド

子どもと教師が自ら学ぶ授業

清々しいあいさつ

異学年同士の関わり合い

気づきのある無言清掃

本年度の重点

～主体的・対話的で深い学び～

体力向上への取組

・体力テストを全校生徒で実施して、個々の課題把握とレベルアップを図る
・年間を通して、体育の種目に合わせた補強運動を取り入れ、基礎体力の向上に取り組む

道徳教育

・あらゆる活動の場において道徳的な心情の醸成と実践力を育てる。

・「望ましい生活習慣」「思いやりの心の育成」「勤労・奉仕の精神」「認め合う学級集団」を重点とした取り組み。

特別支援教育

・生きる力を育てる支援 一人ひとりに寄り添った教科指導と、自信を育む自立活動
・将来の生活を見すえた進路指導
・仲間と安心して学び、生活できる環境作りと支援

人権教育

・日常的に、いじめ問題を含む人権に関わる指導の実践

・インターネット、携帯電話や一人一台のタブレットの使い方などの情報モラルの指導

・人権教育教材を用いた、年間を通して継続的な人権教育の計画・実践。

生徒指導

- ・生徒が相談しやすい雰囲気づくり
- ・特別支援教育の視点を踏まえた「自己指導能力」の育成
- ・相談月間の設定
- ・いじめ体罰実態調査の実施による早期発見・早期対応
- ・情報共有、保護者との連携、共通意識を持った生徒への支援
- ・相談室やスクールカウンセラー、外部機関との連携

健康・安全教育

- ・不審者・火災・地震などを想定した年間3回の避難訓練およびシエクアウト防災訓練
- ・地域ボランティアの方との交流
- ・自転車通学者増加に伴い、交通安全教室の実施と教職員やPTAによる登下校の安全指導
- ・学校内の安全点検
- ・自他の生命を大切に考えた性教育、薬物乱用防止教育の実施と生活習慣確立のための保健指導

特別活動

- ・生徒会活動での自治力の育成
- ・黙想を取り入れた無言清掃を中心とした勤労生産活動の充実

総合的な学習の時間

学校総合：須賀野祭/学年総合：1学年「宿泊学習」、2学年「山梨キャリア学習」「りんご摘果体験」、3学年「修学旅行」/全学年：進路学習 など

キャリア教育

- 1年：自分を知る・身近な職業・働くことの意義 2年：職場体験学習
- ・上級学校について知る 3年：進路学習・進路講話・進路実現

進路指導

- 進路を考えることを通して、自らの生き方を考えていく
- ・資料や検査、周囲のアドバイスなどを参考に、自分の可能性を考える
- ・仕事のやりがい、社会への貢献など、将来の職業について深く考える。
- ・卒業後の進路実現のために自分がどうあるべきか考える。

部活動・Student Firstの視点で菅中PRIDEの実現を目指す

- Personal：個々が自主性や責任をもって取り組む
- Respect：敬意、感謝の気持ちをもって取り組む
- Idea：自分の意思やアイデアを大切にする
- Decide：適切な判断から決断する力を持つ
- Energy：エネルギーにに取り組む

地域コミュニティスクール（菅野の子育成応援団）

開かれた学校づくり

①家庭や地域への情報発信

【学級・学年通信】【ホームページ】【学校便り】

【授業参観・地域公開】

②学校評価

【生徒による評価】【保護者や地域家庭による評価】【教職員の自己評価】

③行事

【資源物回収】【PTA作業】【地域の外部講師】【読み聞かせ】【地域の行事】など